

〔指定管理者制度導入施設〕〔A調書〕
事業評価調書〔途中評価〕（令和7年度）

1. 施設の名称等

施設名称	長崎県立対馬青年の家	事業所管	教育庁	生涯学習課
所在地	対馬市峰町三根1186	課（室）長名	藤井 大作	

総合計画上の位置づけ	基本戦略	1-3	長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる
	施策	2	郷土を愛し、地域を支える心豊かな人材の育成
	事業群	④	子どもたちが直接自然と触れ合う体験活動の推進

2. 施設の概要

設置年月日	昭和 50 年 10 月 6 日			
設置法令等	長崎県立青年の家条例（昭和50年10月6日）			
設置目的	団体の宿泊研修及び野外活動を通じて健全な青年の育成その他社会教育の振興を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に基づき設置する。			
利用対象者等	利用対象者：特に制限なし 開業時間：午前9時～午後5時（ただし宿泊者があれば、この限りではない） 休業日：毎週日・月曜日（利用予約があれば開業）及び12月28日～1月5日（年末年始休業日）			
施設内容	敷地面積：19,915㎡、建物面積：1,395㎡ 主な施設：本館、体育館、キャンプ場、運動場 宿泊定員：80名			
施設の利用 料金体系	◎利用料金表			
	区 分		金額(円)	
	宿 泊 棟	小中学生	100	
		青 年	310	
		外国人	1,360	
		上記以外の者	730	
	テ ン ト	小中学生	50	
		青 年	210	
		外国人	520	
		上記以外の者	310	
	体 育 館	1 時 間	210	
	研 修 室	1 時 間	100	
◎減免規定（県立青少年教育施設共通）				
区 分		減免額		
1 県又は県教育委員会（県立青少年教育施設）が主催・共催による事業等を無料で開催するとき		全額		
2 幼稚園・小学校・中学校・高等学校が学校行事として行なう宿泊研修等で利用するとき		全額		
3 障害者（身体障害者・知的障害者）及び介護者が、青少年教育施設（宿泊型）を利用するとき		全額		
4 各指定管理者が公益上その他特別の理由があると認めたとき		全額又は5割		
類似施設の 設置状況	施設名称	長 崎 県 対 馬 青 年 の 家	佐 賀 県 黒 髪 少 年 自 然 の 家	宮 崎 県 む か ば き 青 少 年 自 然 の 家
	設置年度	S 50	S 50	S 58
	定員	80人	184人	200人
	R6利用者数（人）	8,732	20,173	23,392
	指定管理者制度 導入時期	平成18年4月1日	平成18年4月1日	平成18年4月1日
	R6県負担金額 単位：千円	15,682	64,996	88,305

県 予 算	区 分 (単位：千円)		令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (計画)
	財 源	国 庫	0	0	0	0	0
		その他（ 使用料・県債 ）	204	35	2,547	38	51,664
		一般財源	15,842	15,271	15,960	15,774	16,051
	内 訳	事業費＜A＞	16,046	15,306	18,507	15,812	67,715
		管理運営負担金	16,046	14,878	15,084	15,682	16,080
		その他（ 備品購入費・改修費 ）	0	428	3,423	130	51,635
		人件費＜B＞	547	544	554	592	604
		合計＜C＝A＋B＞	16,593	15,850	19,061	16,404	68,319
		単位あたりコスト	3.8	2.5	2.5	1.9	7.9
(説明) 「当事業による一人あたりの施設利用費用」＝C÷（当事業によるR6施設利用人員：8,732人）							

3. 指定管理者の概要

指定管理者 の名称等	《所在地》 対馬市峰町三根1186			
	《名 称》 対馬青年の家施設運営協会			
	《代表者氏名》 会長 中島 清志			
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日			
業 務	施設（設備）の維持・修繕等（ただし100万円以上の改修を除く） 利用団体の指導に関する業務、主催事業・施設事業に係る広報・PR活動、教育機関としての連携業務			
利用料金制	■ 導入済	未導入	選定方法	公募 ■ 非公募

4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

成果指標の達成状況	①	アンケート調査による利用者満足度 (%)		(目標値の根拠) ①利用者の大半が満足していると判断できる90%を毎年度維持 ②過去5カ年の平均と前年度実績から算定 ③定員の充足 ※いずれの目標値も指定管理者と協議のうえ設定		<令和7年度実施における変更点>			
	②	年間利用者数 (人)							
	③	主催事業参加率 (%)							
	実 績			単位	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (計画)
	①	a 目標値	%						
		b 実績値	%	100	99	100	100		
		c 達成率b/a	%	111	110	111	111		
	②	a 目標値	人	6,500	5,600	6,400	7,700	8,700	
		b 実績値	人	4,406	6,412	7,526	8,732		
		c 達成率b/a	%	67	114	117	113		
	③	a 目標値	%	100	100	100	100	100	
		b 実績値	%	118	134	122	121		
		c 達成率b/a	%	118	134	122	121		
指定管理者の収支状況		事業計画 (R6)		令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (計画)	
		(千円)	実績－計画						
	利用料金	568	648	247	491	750	1,216	809	
	県負担金	15,682	0	15,078	14,878	15,084	15,682	16,080	
	その他	10,455	0	9,919	9,919	10,057	10,455	10,720	
	収入計a	26,705	648	25,244	25,288	25,891	27,353	27,609	
	支出b	26,705	▲ 171	23,642	24,167	25,108	26,534	27,609	
	うち人件費	19,108	▲ 99	13,400	14,107	17,544	19,009	20,256	
	収支a-b	0	819	1,602	1,121	783	819	0	
配置職員数 (人)	常勤	3	0	常勤 3	常勤 3	常勤 3	常勤 3	常勤 3	
	非常勤	0	0	非常勤 0	非常勤 0	非常勤 0	非常勤 0	非常勤 0	

※この収支は指定管理者が行う管理運営にかかるものであり、この他に県が直接負担したものととしては、「2. 施設の概要」の「県予算」の「その他」がある。

5. 令和6年度事業の実施状況・実績の検証

管理運営の状況	計 画	実 績																																									
	<p><指定管理者実施分></p> <p>①施設（設備）の維持修繕等</p> <p>②利用団体の指導に関する業務</p> <p>③主催事業に関する業務</p> <p>④施設事業に係る広報・PR活動</p> <p>⑤教育機関としての連携業務</p> <p><県実施分></p> <p>①業務の実施状況や管理経費等の収支状況調査の実施</p> <p>②県の広報媒体を活用した施設及び主催事業の周知</p>	<p><指定管理者実施分></p> <p>①職員によって、LED電球への交換、玄関側面と天井の色塗り、炊飯場までの杭とロープ設置等を行った。業者には、体育館倉庫床の張替、グラウンド倉庫の戸修繕、キャンプ場トイレの洋式化等を行ってもらった。</p> <p>②宿泊学習における教育効果を高めるために、事前打合わせを行うとともに当日は冊子をもらい目的等の確認を行うことで、その目的を達成できるような指導・支援を行うことができた。</p> <p>③主催事業では、(1)教育効果 (2)利用者満足度、(3)参加状況、(4)市場評価、(5)事業コストについて、数値を用いた調査・研究を行い、今後に生かすことができた。</p> <p>④ホームページに加え、LINEやInstagram、Facebook、Youtubeで情報発信の強化を行った。また、「対馬青年の家だより」や「リーフレット」を対馬島内の全小学生と幼稚園・保育園児に配布した。</p> <p>⑤県（1機関）や市（7機関）の行政機関、小学校（1学校）、民間団体（1機関）と連携し、事業を行った。</p> <p><県実施分></p> <p>①適正に実施されていることを確認した。</p> <p>②県広報媒体を活用し広報活動を実施した。</p>																																									
	検 証																																										
	<p>○管理運営については、協定書に基づき適正に実施された。</p> <p>○利用人数については、令和6年度は8,732名と目標値である7,500名を達成した。</p> <p>○主催事業については、定員に対する参加率が121%であり、目標を達成した。</p> <p>○施設利用者への満足度アンケートについては、100%が「良」という結果であり、目標を達成した。</p>																																										
収支の状況	収支計画・実績																																										
	<p><指定管理者実施分></p> <p>(単位：千円)</p> <table><tr><th>主な項目</th><th>計画</th><th>実績</th><th>増減理由・収支改善の取り組み等</th></tr><tr><td>収入 a</td><td>26,705</td><td>27,353</td><td>主催事業における工作代等が計画を上回ったことによる増</td></tr><tr><td>うち利用料金</td><td>568</td><td>1,216</td><td></td></tr><tr><td>うち県負担金</td><td>15,682</td><td>15,682</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>10,455</td><td>10,455</td><td></td></tr><tr><td>支出 b</td><td>26,705</td><td>26,534</td><td>経費削減等による実績減</td></tr><tr><td>うち人件費</td><td>19,108</td><td>19,009</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>7,597</td><td>7,525</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>収支a-b</td><td>0</td><td>819</td><td></td></tr></table>			主な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等	収入 a	26,705	27,353	主催事業における工作代等が計画を上回ったことによる増	うち利用料金	568	1,216		うち県負担金	15,682	15,682		その他	10,455	10,455		支出 b	26,705	26,534	経費削減等による実績減	うち人件費	19,108	19,009		その他	7,597	7,525						収支a-b	0	819	
	主な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等																																							
	収入 a	26,705	27,353	主催事業における工作代等が計画を上回ったことによる増																																							
うち利用料金	568	1,216																																									
うち県負担金	15,682	15,682																																									
その他	10,455	10,455																																									
支出 b	26,705	26,534	経費削減等による実績減																																								
うち人件費	19,108	19,009																																									
その他	7,597	7,525																																									
収支a-b	0	819																																									
<p><県実施分></p> <p>①備品購入 130千円</p>																																											
検 証																																											
<p>○利用者の確保による利用料金収入の確保に努めており収入が計画を上回っている。また、細かな予算管理を行うことで支出を抑えることができている。</p>																																											
指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価																																											
A																																											
<p>(説明)</p> <p>○利用者数は、8,732人で目標を達成しており、設置目的を達成しているといえる。</p> <p>○施設運営については、年間を通して魅力的な主催事業を実施し、定員を上回る参加があり、青少年を中心とした多くの県民に自然体験等の場を提供できている。また、利用者の求めに応じたきめ細かな対応を実施しており、利用者からも高い評価を得ることができている。</p> <p>○収支面については、広報・PR活動の継続的な実施により一定の利用者を確保したことで収入が計画を上回っており、細かな予算管理を行うことで支出を抑えることができている。</p> <p>以上のことから、設置目的に即した成果を維持していると思われる。</p>																																											

6. 令和7年度事業の実施にあたり見直した内容

内 容
○業務改善協議の実施：毎年6月と12月に実施しており、職員のアイデアをボトムアップするために、全職員で①指導業務、②新規事業、③事務処理、④修繕、⑤備品、⑥プログラム開発、⑦新規活動について協議を行っている。その結果、次の通り見直しを行った。「指導業務」については、各活動を動画にまとめ、YouTubeや施設ホームページに掲載することで、各活動を分かりやすく説明できた。「新規事業」については、地域の教育関連団体と連携し、SDGs事業と子育て支援事業を新規で実施した。「備品」については、冷蔵庫を3台購入・設置した。「研修」については、県内の青少年教育施設とのオンライン研修等年間合計15回の研修を実施した。「新規活動」については、工作（どんぐりトトロ）と軽スポーツ（バグジー）を新たに取り入れた。

7. 令和7年度事業の評価

※評価区分（a：行われている、b：一部行われていない、c：行われていない）

指定管理者の行う管理運営等に関する評価	視点	評価	判定理由
	・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。	a	全体の利用者に対し、青少年の利用率が60%、また宿泊の利用率が29%である。宿泊については、教育活動の変化により減少傾向にあるが、主催事業等を通し、青少年を中心とした多くの県民に自然体験の場を提供している。
	・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。	a	開館日における利用者の受入は、協定書に基づき適正に行われている。
	・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。	a	利用者アンケートを実施し、利用者ニーズを取り入れたサービスの提供に努めている。また、アンケート結果も満足度が非常に高い。
	・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。	a	施設・設備の日常・定期点検は協定書に基づき適切な管理が行われている。
	・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。	b	利用者確保により収入の確保に努めている。昨今の人件費等の高騰への対応として、更なる収入確保のため利用料金の見直し等の検討が必要である。
	・経費節減に向けた取り組みが行われているか。	a	定期的に予算執行状況を把握し、適切な予算執行を行っている。
	（その他の観点）		

施設の在り方についての評価	視点	評価	理由
必要性	・県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。	■ a. 薄れていない b. 一部薄れている c. 薄れている	令和6年度の利用者は、約9千人と目標値を上回っている。また、「対馬青年の家だより」を市内の全小学校と幼児に配布するなど、施設に対する理解と利用促進に努めており必要性は高いと思われる。
	・事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適応しているか。	■ a. 適応している b. 一部適応していない c. 適応していない	少子化等により、主な利用者である児童生徒が減少する中、新規事業を定期的に計画・実施し、社会情勢のニーズを合わせた事業展開を行うことで、利用者数を維持している。
	・市町または民間に移管・移譲することが適当（可能）ではないか。	a. 適当（可能）でない b. 一部適当（可能）でない ■ c. 適当（可能）である	地元利用が85%と高く、地元市において施設を管理することが望ましいため、市町の財政状況等を踏まえつつも、地元移譲の協議について前向きに検討すべきである。
効率性	・県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。	■ a. 得られている b. 一部得られている c. 得られていない	協定に定められた施設の維持管理、指導業務、主催事業等を実施し、概ね計画どおりの活動成果が得られている。
	・指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。	■ a. 代えられない b. 一部代えられない c. 代えられる	社会環境に応じた柔軟性のある主催事業の展開、経費節減の実効性、サービス向上など指定管理者制度が有効に機能している。
有効性	・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。	■ a. なっている b. 一部なっていない c. なっていない	収支状況も概ね安定し、良好な施設運営、サービスの提供により、利用者の満足度も高い。
	・事業効果をさらに上げる余地はないか。	a. 余地はない ■ b. 一部余地がある c. 余地がある	今年度も地域の教育関連団体と連携し、新規事業を2事業実施しており、今後も社会ニーズに沿った事業展開を行っていく。
	（その他の観点） ○令和6年度末時点では、施設の無償譲渡について、対馬市からの要望は無い。 ○地元市として青少年教育施設の必要性は認めながらも、市の行財政改革に基づき、市有施設の整理等を行っているが、利用状況や設置の経緯を踏まえ、移譲については今後も市と協議を継続していく。 ○今後、施設の設置目的や国、市町における類似施設等の設置状況を踏まえ、施設設置の意義や県民ニーズ、施設等の維持管理・更新などの長期的視点で、施設の必要性について検討を進めていく。		

8. 令和8年度事業の実施に向けた方向性

区分	現状維持	改善	移管	廃止
（説明：令和8年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容） ○職員研修：①施設外研修（教育団体が提供する研修会や小学校の研究授業等への参加）と②主催事業の報告書作成等を実施することで、施設が提供するサービスの質向上に努めたい。 ○新規主催事業：地域の団体と連携し、新規主催事業を1事業以上増やせるよう準備・計画を進めていく。 ○新規活動：施設が提供する活動のマンネリ化を防ぐため、2活動程度新規提供できるよう準備・計画を進めていく。 ○昨今の人件費等高騰の状況の中、安定的な施設運営を継続するため、利用料金や主催事業の参加費設定の見直し等による収入増を図るとともに、効率的な施設運営につながる休館日設定についても検討していく。				